

令和5年度 第1回医療・介護関係者の研修
「認知症の方への意思決定支援への効果的なアプローチとは
～事例を通じた意見交換（グループディスカッション）～」
【要点録】

研修日時：令和5年10月27日（金）19時30分～20時45分

研修会場：多摩市役所 市役所西1・2・3会議室

参加人数： 65 名

19：00～研修部会委員集合（ファシリテーター打ち合わせ）

進行：司会・書記決める。ワークシートに発言記入

19：30～開始

挨拶 浅井先生

2023年お口の健幸講座11月12日14：00～

事例紹介 19：35～19：55

みずたま介護：小泉さん

ケアプランセンターあたご：小山さん

すみれ訪問看ステーション：金沢さん

3番目の事例についてGW

20：30～発表

5G：チームをどう使うか？各職種でCMが集約する。良いコミュニケーションのために敬語や白衣パワー

9G：この方の意思決定のために信用できる方をつくる。

妻と本人の担当をあえて変える。妻には女性のCM

妻が介護できるのかサービス担当者会議。

7G：家にヘルパーや支援が入ることで信頼できる人が増える。環境を整えるとぜんそくが回復するかも。毎回はじめましてでも楽しい人だと思ってもらいたい。

○石岡さん まとめ 多職種で顔の見える関係。意見が違ってよい。前向きな意見が出てよかった。

○終わりの挨拶：在宅医療・介護連携推進協議会会長 新垣先生 今回のケースは認知症の対応の難しい事例であった。何度も意思を決定していくことが大切。

○「認知症の人への意思決定支援のガイドライン」について説明 淵野さん

20：45終了

アンケートの返信：11月22日（水）までロゴフォームをお願いします。